

☆中国

繊維景況

化繊企業の再編進む

中国紡織報によると、中国の化繊産業は周期的な景気低迷期にある中、激しい市場競争、生産能力過剰や、需要低迷などの影響を受けている。こうした状況下、破産、合併・再編、業績悪化により業務売却を行う企業もあり、業界構造の改革が進んでおり、その結果、徐々に化繊業界において、大型企業集団が形成されつつあるという。

中国化繊工業協会・端小平会長によると、こうした動きに対して、市場淘汰メカニズムを尊重すべきであり、合併・再編を通して、化繊業界はグレードアップできると指摘する。専門家の指摘では、こうした再編によって、優良企業に設備が集中し、強い企業は更に強くなり、化繊業界内で国際競争力を有する大企業が形成されつつあるという。

中国紡連が行った春季調査においても、浙江地区の化繊企業は強者と弱者がはっきりと分けられ始めているという。

最近の動きでは、吉林化繊は、傘下の河北吉藁の株式と湖南拓普の50%の株式を吉林市鉄路投資開発有限公司に譲渡、新民科技は、化繊と染色事業を売却することを明らかにした。斉魯化繊は4月に破産手続きに入り、儀征化繊は一部の不採算なポリエステル長繊維事業を停止している。その一方で、儀征化繊は差別化高付加価値ポリエステル短繊維に重点を置くという。専門家によると、こうした動きは氷山の一角にすぎないという。まだ市場に留まっている中小企業の中には、市場競争の激しさから将来的な撤退を決断しているところも多く、また、優良企業や希望する企業があれば合併し、大きな損失を避けたいという企業もあるという。

ある企業関係者によると、かつて中国では、化繊産業の競争力は規模の大きさに決まるという原則があり、非理性的な拡張であっても拡張しなくては生き残れなかったという。しかし、市場の先行きを見ないで増設したため、景気の下り坂に入った局面で、競争力のない企業は苦境に陥っている。

☆米国

新製品

INVISTA、バイオベースの新LYCRAを発表へ

米国のポリマー・繊維の総合メーカーINVISTAはこのほど、バイオベースのスパンデックス繊維LYCRAを発表した。この新製品は、トウモロコシから抽出されたブドウ糖由来の再生資源を原料としており、

重量は従来品から 30%減、CO2 の排出量も抑えられているという。また INVISTA の高い基準や製品仕様も満たしている。

2015 年秋冬及び 2016 年春夏のコレクションの時期を目途に商業生産を開始する予定。

同社はこの新たな LYCRA は INVISTA とアパレル産業との深いかかわり示し、小売業者やストレッチファブリックメーカーにスパンデックス繊維の新たな選択肢を与えるもの、としている。

同社の Apparel and Advanced Textiles 事業は、「PLANET AGENDA」というサステナビリティ・プログラムの中で次の 3 点を実施することを明らかにしている。

- 資源保護、工場の排気量や廃棄物を削減して環境フットプリントを最小限にする
- アパレル市場のニーズに対応するため、競争力のある製品を提供すると同時により少ない資源を用いることにより、全ての繊維の環境機能性を強化する。
- 従業員や地域の健康と安全を守り、地域の環境活動に積極的に参加する

海外投資

SGT, 4 千万ドルを投じ、NC 州に工場建設へ

シェールガス革命などにより“製造業の復権”が謳われる米国において繊維産業の復調が伝えられている。（海外速報No.990, 985 参照）

インド・Tamil Nadu 州の紡績メーカー Shri Govindaraja Textiles (SGT) はこのほど、4,000 万ドルを投じ、米国の North Carolina 州 Eden に紡績工場を建設し、最新鋭の紡機を導入してコマ糸を生産する予定であることを明らかにした。

North Carolina 州は綿作地帯であるほか、労働力が豊富で、また湾港に隣接するというメリットがある。

SGT は南インドの 2 州に 14 の製造工場を保有し、年産 40 万錘のスピンドルなど、最先端の機械設備を有している。同社は 20～160 番手のコマ糸、カード糸を製造している。

今回の移転は、米国の九つの異なる州や様々な群をリサーチ・比較検討した結果であるという。これにより、今後 2 年間で最大 84 の雇用の創出が見込まれる、と同時に、同州の伝統産業である高品質な綿花製品の継続にも期待がかかる。

以上